

1 学習用具のやくそく

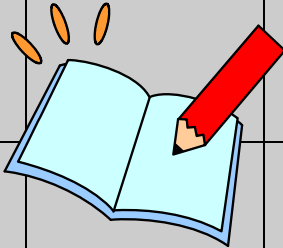
- 休み時間中に、次の学習用具を準備します。
- 机上には、筆記用具（筆箱は机の中）、教科書、ノートを準備します。
- 鉛筆削りは学級に設置しているものを使います。
- 道具袋（低学年は道具箱）の中身については、各学年から連絡します。
（はさみ・のり・色鉛筆 など）
- 持ち物への記名を必ずしましょう。

☆筆箱の中の持ち物☆

- HB・B・2Bの鉛筆を5～6本
- 消しゴム
- 色鉛筆か色ペンを3本まで
（赤、青、黒：名前ペン等）
- じょうぎ（15cm程度の直定規）
が基本セットです。

その他、学年によって蛍光ペンなどを持ってくる場合もあります。

○緑ヶ丘小学校では、児童が使うノートについて、学年・教科によって次のように揃えています。準備される際には、次の規格のノートになるようお気をつけ下さい。

	国語	算数	社会	理科	道徳
1年	入門期10マス 以後 12マス	入門期 7マス×12 以後 10×14 14マス			
2年	15マス	12ミリ方眼罫			
3年	18マス	10ミリ方眼罫			
4年	10ミリ方眼罫	8ミリ方眼罫			10ミリ方眼罫
5年	10ミリ方眼罫	8ミリ方眼罫			10ミリ縦罫
6年	8ミリ方眼罫	8ミリ方眼罫			10ミリ縦罫

家庭学習の手引き(保護者用)

はじめに



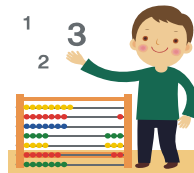
小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」「計算すること」は欠かすことのできない『生きるための力』のひとつです。

本校では、『生きるための力』の基となる基礎学力を高めるために日々取り組んでおりますが、ご家庭のご協力なくして実現できるものではありません。『家庭学習の手引き』を参考にさせていただき、子どもたちの確かな学びを支えていただけますようお願いいたします。

家庭学習のよさ

進んで学ぶ習慣が身につく

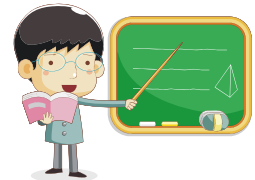
学んだことを、授業や生活で活用できる



できる楽しさや学ぶ喜びを感じることができる

親子の対話も増えるよ

よい生活リズムが身につく



家庭を学びの環境に

生活習慣

- ・早寝、早起きの習慣づけ
- ・朝食は必ずとる
- ・朝の排便

学習環境

- ・決まった時間に学習
- ・テレビはつけない

家族の協力

- ・見守ってあげる
- ・励まし、アドバイス
- ・学校との連携

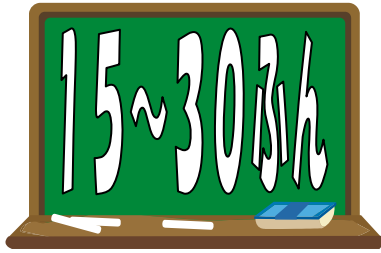
家庭学習の取り組み方



低学年(1・2年)	基本的な学習の習慣を身につける	15~30分
中学年(3・4年)	自学の習慣を身につける	30~60分
高学年(5・6年)	自分なりの学習スタイルを身につける	45~90分

かていがくしゅうのてびき(1・2年生よう)

1. ベンキョウするじかん



ベンキョウするときのやくそく

- ◎まいにち ベンキョウの じかんを きめる。
- ◎ベンキョウちゅうは テレビや ゲームの スイッチを きっておく。
- ◎ベンキョウを はじめたら、たちあるかないで おわりまでやる。

2. すすんで やってみよう

☆はじめに、しゅくだいを しましょう。

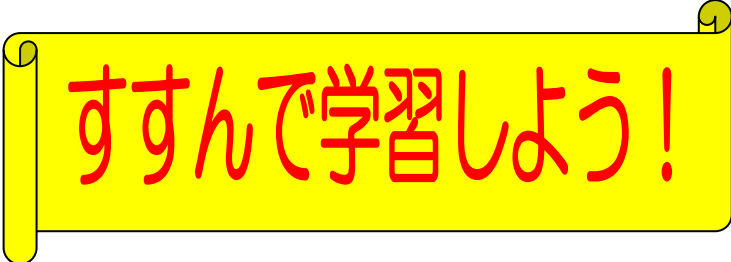
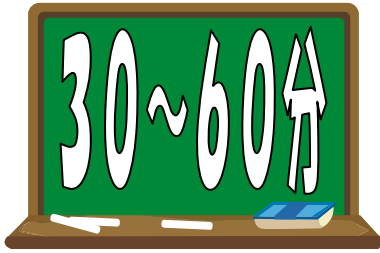
☆しゅくだいが おわったら、ほかのベンキョウを しましょう。



たとえば こんな ベンキョウを やってみよう	
こく 国 ご 語	<ul style="list-style-type: none"> • こえにだして きょうかしよを よむ。 • ひらがな、カタカナ、かんじを れんしゅうする。 • きょうかしよの ぶんしょうを ノートに かきうつす。
さん 算 すう 数	<ul style="list-style-type: none"> • けいさんの れんしゅうを なんどもやる。 • きょうかしよや ドリルの もんだいを れんしゅうする。
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> • えにっきや にっきを かく。 (たのしかったこと、うれしかったことなど) • すきな ほんを よむ。 • けんぱんハーモニカのれんしゅうや せいかつかのいきもののかんさつをする。

家庭学習の手引き(3・4年生用)

1. 勉強する時間



勉強するときのやくそく

- ◎まい日勉強の時間を決めて取り組む。
- ◎勉強中は テレビやゲームのスイッチを切っておく。
- ◎終わるまで立ち歩いたりせずに集中して取り組む。

2. すすんで やってみよう

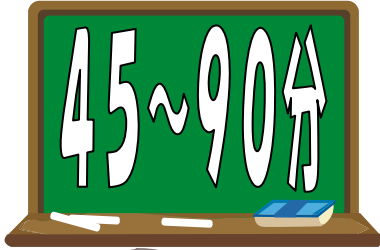
- ☆はじめに、宿題をしましょう。
- ☆その日学校で学習したことを、もう一度やってみましょう。(復習)
- ☆宿題や復習が終わったら、自分で考えて学習をしましょう。



	たとえば こんなことをしましょう
国 語	<ul style="list-style-type: none"> •教科書を声に出して読む。 •漢字の練習をする。(じゅく語や短文でも練習する) •わからない言葉やじゅく語の意味を辞書で調べる。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> •かけ算やわり算の問題をくりかえし練習する。 •文章問題にもちよう戦する。 •三角定規や分度器、コンパスの使い方を練習する。
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> •日記を書く。 (楽しかったこと、心に残ったことなど) •きょうみのある本を読む。 •音楽のリコーダーの練習や、理科・社会の学習で自然や地域の様子を調べる。 •きょうみのあることを、図かんやじてん、インターネットなどで調べる。

家庭学習の手引き(5・6年生用)

1. 勉強する時間



自分なりの学習方法を身につけよう!

勉強するときのやくそく

- ◎まい日勉強の時間を決めて取り組む。
- ◎勉強中は テレビやゲームのスイッチを切っておく。
- ◎終わるまで立ち歩いたりせず集中して取り組む。

2. すすんで やってみよう

- ☆はじめに、宿題をしましょう。
- ☆宿題や復習が終わったら、自主学習をしましょう。
- ☆つぎに習うことの準備をしましょう。(予習)



	たとえば こんなことをしましょう
国語	<ul style="list-style-type: none"> • 様子を思いうかべながら音読練習をする。 • 漢字の練習をする。(じゅく語や短文でも練習する) • わからない言葉やじゅく語の意味を辞書で調べる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書やドリルを使ってくりかえし計算練習をする。 • 文章問題を解いたり、自分で作ったりする。 • 「どうしてまちがえたのか」考えてまちがえなくなるまでやり直す。
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> • 日記を書く。 (心に残ったこと、感動したことなど) • 興味をもった本の読書をする。 • 理科・社会・家庭科などの大切だと思う所をノートにまとめる。 • 興味のあることを図鑑や事典、インターネットなどで調べる。 • 自分なりに工夫して、自分に合う学習方法を身につける。